

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の
天然記念物

関係のある情報

【場所】 倉敷市本町
【時代】 樹齢300~500年
【指定年月日】 昭和31年4月1日
【所有】 阿智神社
【見学】 可



あちのふじ

阿知の藤

かんけい しまち
関係する市町

くらしま し
倉敷市



この天然記念物について

阿知の藤は、美観地区の北にある鶴形山の頂上近くにある藤の木で、阿智神社の本殿の裏手にあり、推定年齢は300年とも500年ともいわれています。

幹廻りが約1.5m、根元の周囲は約2.2mで、同種の藤としては日本一の大きな樹といわれています。

この藤は、アケボノフジと呼ばれる品種で、毎年五月上旬になると藤棚全面に淡い紅色の花を咲かせます。

先年老衰のためか、樹に衰えが見られ、花も少なくなりはじめたため、活性剤や有機肥料を与えるなどさまざまな処置が施されました。これらの延命策により回復しつつあります。

さらに、つぎ木などによる二世育成にも力が注がれています。